

自分も誰かの
役に立てることが
あるかもしれない

たなか まもる
田中 衛

環境省 福島地方環境事務所 環境再生・廃棄物対策部
環境再生・廃棄物対策統括課

昭和34年（1959）、南相馬市出身。
民間企業で原子力関連の仕事に携わる。2013年3月、環境省 福島環境再生事務所
（当時）に入所し、国直轄の除染工事を担当。

「外野からあれこれ心配しているより、そこに飛び込んでやってみようか」

震災後、地元の復旧復興が気になって、
自分にもできることがあるかもしれない、それならと思ったのです。
以前は原子力関連の仕事をしていました。

思いもよらず、現在の職場にお世話になることになり、それからは
一貫して国直轄の除染事業部門に所属し、飯舘村^{いいたてむら}を担当してきました。
実は、住民の皆さんとじかに接する仕事は未経験、住民説明会などでは
かなり緊張し、しどろもどろの対応に。

お叱りどころか苦笑されることもたびたび、反省しきりの毎日でした。
なんとか除染事業を進めてこられたのは、同僚の助けはもちろん、つらい思いを
されているにも関わらず、理解と協力をいただいた住民の皆さんのお蔭でした。
加えて実際に現場を支えてくださった多くの作業員の
献身的な働きがあったからだと思います。

自分たちの仕事は「放射線への心配を減らし、皆さんが帰りやすい環境を整えること」
と思ってきましたので、2017年3月に飯舘村の多くの地区で避難指示の解除が
迎えられたのは感慨深かったです。飯舘村の小中学校が再開した時は、
もちろん伺いました。子どもたちの笑顔が見られて本当にうれしかったです。



飯舘村での農地除染状況